

2002年10月号 難民

NI No.350 October 2002 Refugees

< 内容 >
(本文は英語です)

不安が魂を蝕む

難民に関する火のついた議論に、
油を注いでいる不安について。
私達の大胆な行動をどうか許して
下さい

ふたりの子供が遺した手紙。

新しい常識

国境の開放を提案する。

満室の宿屋

裕福な国へ入国することと人種との関係。

FACTS - 自由への道?

旅の軌跡

難民である3人の作家の物語。

命を賭けて逃げ出す

現在多くの難民を生み出している国々について。

難民! 犯罪者! テロリスト!

9月11日が亡命者達に及ぼした影響。

行動と抵抗

行動、ひらめき、そして世界中の様々な団体の情報。

最後に... 難民からのひとことと、文献紹介

その他、世界の状況を伝えるニュースや報告も掲載



封印された貨物の中、飛行機の着陸装置の中、トラックの車輪の間..... 貧困や迫害から逃れるための賭けにでて、これらの場所で死んだり死に行く人々。そんな残酷な話は尽きることがない。豊かな国の多くの人々は、難民が「あふれ」、自分達が仕事を奪われたり経済的損失をこうむるだろうと思いでいる。選挙では、候補者がどれほど難民に対して「厳しい」姿勢を見せるかによって勝敗が決まる。だが、私達が持っていた思いやりはどこへ行ってしまったのだろうか? 難民に関する真実は明らかにされているのか? この問題に対して違うアプローチの仕方は無いのだろうか?

もしも国境を開放し、私達の考え方から障害物を取り除いたら、そこにはどのような可能性が広がるのだろうか?

NI Japan No.38 2002年10月号 難民

< 内容 >
(本文は日本語、一部英語です)

< 今月のメインテーマ記事 >

「不安が魂を蝕む」

(NI本誌p9-12の翻訳)

< Reporting from Japan >

日本の難民 - その事実

日本の難民関連データ & 難民認定申請手続きについて

日本の難民制度 - 難民鎖国ニッポンと呼ばれるのは?

アムネスティ・インターナショナル日本

難民活動担当 柳下み咲

東京に住むあるクルド人難民のストーリー

< Contact Points >

日本国内の難民支援活動を行っている団体の情報。

< Country Profile >

「世界の国のプロフィール - ザンビア」

(NI本誌p36の翻訳)



NI (英語版、A4サイズカラー、約40ページ) と日本編集のNI-Japan(日本語、A4サイズモノクロ、12ページ)をセットでお届けします。

【年間購読(1・2月号は合併号のため年11回発行)】

10,500円(送料、消費税込み)

【お試し用最新号またはバックナンバー】

1,000円(送料、消費税込み)

*ホームページから、購読お申し込みやバックナンバー照会もご利用頂けます。



< お問い合わせ・お申し込み >

有限会社インティリンクス

〒193-0843 東京都八王子市廿里町46-2

Tel / Fax : 0426-29-4863

E-mail : info@ni-japan.com

URL http://www.ni-japan.com/